

学 校 名	課程・学部

平成 2 2 年度 初任者研修年間指導計画 (1) - 1

1 対象教員(初任者)

氏 名	年齢	性別	免 許	学級担任	主な校務分掌	担当教科	担当授業時数	週研修時間	備 考
1									
2									
3									

2 指導教員

職 名	氏 名	年齢	性別	免 許	経験年数	学級担任	主な校務分掌	担当教科	担当授業時数	指導対象教員氏名	研修指導担当時数	備 考

3 教科指導員

職 名	氏 名	年齢	性別	免 許	経験年数	学級担任	主な校務分掌	担当教科	担当授業時数	指導対象教員氏名	研修指導担当時数	備 考

4 指導教員後補充

職 名	氏 名	年齢	性別	免 許	経験年数	学級担任	主な校務分掌	補充担当教科	補充担当授業時数	補充対象指導教員氏名	備 考

5 教科指導員後補充

職 名	氏 名	年齢	性別	免 許	経験年数	学級担任	主な校務分掌	補充担当教科	補充担当授業時数	補充対象教科指導員氏名	備 考

6 初任者後補充(1人配置校のみ)

職 名	氏 名	年齢	性別	免 許	経験年数	学級担任	主な校務分掌	補充担当教科	補充担当授業時数	補充対象指導教員氏名	備 考

7 定数加配教員

職 名	氏 名	年齢	性別	免 許	経験年数	学級担任	主な校務分掌	担当教科	担当授業時数	備 考

記入上の注意等

- ・ 2～7については、同一人物が複数の箇所に該当する場合はすべて記入（例えば、同一人物が初任者に対して教科及び教科以外の指導をする場合は「2 指導教員」と「3 教科指導員」の両方にそれぞれの内容を記入）
- ・ 年齢は平成23年3月31日現在
- ・ 主な校務分掌は、主任の場合はすべて「主任」と記入
- ・ 経験年数は平成23年3月31日現在の公立学校本務教員の年数を記入（講師は記入不要）
- ・ 初任研に係る講師で、他校の初任研に係る講師を兼ねている者については、備考欄にその学校名、講師の種類、週当たりの担当時数等を詳細に記入
- ・ 講師のこれまでの経歴を備考欄に、「元校長（教員歴38年）」、「元教員（教員歴35年）+ 臨時的任用（2年3月）」、「臨時的任用（3年）+ 非常勤（通算9月）」、「教職経験なし」等記入
- ・ 本様式は、平成22年4月14日（水）までに教育研修課長あて提出すること。（A4横・横書きで作成のこと。）

学 校 名	課程・学部

平成 2 2 年度 初任者研修年間指導計画 (1) - 2 (拠点校方式)

1 対象教員(初任者)

氏 名	年齢	性別	免 許	学級担任	主な校務分掌	担当教科	担当授業時数	週研修時間	備 考
1									
2									
3									
4									

2 拠点校指導教員

職 名	氏 名	年齢	性別	免 許	経験年数	学級担任	主な校務分掌	担当教科	担当授業時数	指導対象教員氏名	研修指導担当時数	備 考

3 校内指導教員

職 名	氏 名	年齢	性別	免 許	経験年数	学級担任	主な校務分掌	担当教科	担当授業時数	指導対象教員氏名	研修指導担当時数	備 考

4 初任者後補充

職 名	氏 名	年齢	性別	免 許	経験年数	学級担任	主な校務分掌	補充担当教科	補充担当授業時数	補充対象指導教員氏名	備 考

5 定数加配教員

職 名	氏 名	年齢	性別	免 許	経験年数	学級担任	主な校務分掌	担当教科	担当授業時数	備 考

記入上の注意等

- ・ 2～5については、同一人物が複数の箇所に該当する場合はすべて記入（例えば、同一人物が初任者に対して教科及び教科以外の指導をする場合は「2 拠点校指導教員」と「3 校内指導教員」の両方にそれぞれの内容を記入）
- ・ 年齢は平成23年3月31日現在
- ・ 主な校務分掌は、主任の場合はすべて「主任」と記入
- ・ 経験年数は平成23年3月31日現在の公立学校本務教員の年数を記入（講師は記入不要）
- ・ 講師のこれまでの経歴を備考欄に、「元校長（教員歴38年）」、「元教員（教員歴35年）+ 臨時的任用（2年3月）」、「臨時的任用（3年）+ 非常勤（通算9月）」、「教職経験なし」等記入
- ・ 本様式は、平成22年4月14日（水）までに教育研修課長あて提出すること。（A4横・横書きで作成のこと。）

平成 2 2 年度 初任者研修年間指導計画 (2)

学校名	種 別	
	氏 名	

	月	火	水	木	金
1	-----				
2	-----				
3	-----				
4	-----				
5	-----				
6	-----				
7	-----				

研修時間は
で示すこと

記入上の注意等

- 1 初任者の他、指導教員（拠点校方式では拠点校指導教員、校内指導教員）、教科指導員について作成すること。なお、「種別」欄については、「初任者」「指導教員」「教科指導員」等と記入すること。
- 2 この指導計画については、平成 2 2 年 4 月 2 3 日（金）までに教育研修課長あて送付すること。
- 3 A 4 縦用紙・横書きで作成のこと。

【記入例】

	月	火	水	木	金
1	現社	校 外 研 修 日	示	政経	現社
2	般		政経		現社
3				現社	
4	現社		参	現社	政経 研
5	地理		現社	産社	授
6	地理		般	産社	現社

が、研修時間。

- 示...示範授業 (1 時間)
- 参...授業参観 (1 時間)
- 授...授業研究 (1 時間)
- 般...一般研修 (2 時間)
- 研...研究授業 (1 時間)

平成 2 2 年度 初任者研修年間指導計画 (3)

学校名

1 対象教員(初任者)

対 象 教 員					指導教員 (拠点校指導教員)	
課 程	職 名	氏 名	担当教科	学級担任	職 名	氏 名

2 指導事項

月	実施日(曜日)	研修項目	主 な 研 修 内 容	指導形態	時間数	指導者名
4						
5						

研修時間数	研 修 項 目 別 時 間 数						の 指 導 形 態 別 時 間 数				
						総 計	A	B	C	D	A ~ D 計

記入上の注意等

- 1 対象教員の学級担任については、「2の2副担」「なし」等と記入すること。
- 2 研修項目については、
 授業研修(年間120時間以上)、生徒指導、進路指導、基本的事項、特別活動
 人権同和、学校保健、図書館等(~ の一般研修の合計は年間60時間以上)と記入すること。
 【注】学校行事等の変更に備えて、総合計200時間以上の計画を立てることが望ましい。
- 3 「主な研修内容」については、箇条書きとすること。
- 4 指導形態(授業研修)については、次のA～Dの記号で記入すること。
 A：示範授業 指導教員が示範授業を実施して、授業研究を行い指導するもの。
 B：授業研究 研究授業等についての事前・事後研究や、教材研究等を共に行い指導するもの。
 C：授業参観指導 学校内の中堅教員等の授業を参観し、研修するもの。
 D：研究授業 対象教員が研究授業を行い、指導教員や教科指導員が指導するもの。
 【注】「 」の時間数と「A～D計」は同じ数値。
- 5 研修項目別時間数及び指導形態別時間数の合計については、「初任者研修推進についての配慮事項」8の(5)(17頁)に配慮すること。
- 6 この指導計画については、平成22年5月21日(金)までに、教育研修課長あて提出すること。(A4縦用紙・横書で作成のこと。)

平成 22 年度 初任者研修指導報告書

学校名

1 対象教員(初任者)

対 象 教 員					指導教員(拠点校指導教員)	
課 程	職名	氏 名	担当教科	学級担任	職 名	氏 名

2 指導事項

月	実施日(曜日)	研修項目	主 な 研 修 内 容	指導形態	時間数	指導者名
4						
5						

研修時間数	研 修 項 目 別 時 間 数							の 指 導 形 態 別 時 間 数				
							総 計	A	B	C	D	A ~ D 計

記入上の注意等

- 1 対象教員の学級担任については、「2の2副担」「なし」等と記入すること。
- 2 研修項目については、
 授業研修(年間120時間以上)、生徒指導、進路指導、基本的事項、特別活動
 人権同和、学校保健、図書館等(~ の一般研修の合計は年間60時間以上)と記入すること。
- 3 「主な研修内容」については、箇条書きとすること。
- 4 指導形態(授業研修)については、次のA～Dの記号で記入すること。
 A：示範授業 指導教員が示範授業を実施して、授業研究を行い指導するもの。
 B：授業研究 研究授業等についての事前・事後研究や、教材研究等を共に行い指導するもの。
 C：授業参観指導 学校内の中堅教員等の授業を参観し、研修するもの。
 D：研究授業 対象教員が研究授業を行い、指導教員や教科指導員が指導するもの。
 【注】「 」の時間数と「A～D計」は同じ数値。
- 5 この指導報告については、下記のとおり、(1)(本様式)に(2)～(4)を添付して、下記に示す日までに、教育研修課長あて提出すること。
 (1)「初任者研修指導報告書」(様式5)
 (2)「非常勤講師勤務実績簿」の写し 【注】「指導教員に係る非常勤講師」及び「教科指導員に係る非常勤講師」
 (3)「月別行事表(適宜の様式)」の写し
 (4)「研修記録カード(校内研修用)」の写し

第1回：平成22年 8月13日(金) 4月分～ 7月分
第2回：平成23年 1月14日(金) 8月分～ 12月分
第3回：平成23年 3月16日(水) 1月分～ 3月分

なお、第2回、第3回の提出にあたっては、それ以前の回の提出分を除くこと。
 また、第3回の提出にあたっては、「研修記録カード(校外研修用)」の写しも、併せて提出すること。

校 内 研 修 記 録

期 日	平成 年 月 日 (曜日)		
研 修 者		指 導 者	
研 修 項 目			
研 修 内 容			
成 果 と 課 題			
指 導 教 員 の 指 導			

期 日	平成 年 月 日 (曜日)		
研 修 者		指 導 者	
研 修 項 目			
研 修 内 容			
成 果 と 課 題			
指 導 教 員 の 指 導			

・この記録は、「(1) 研修記録について」(18頁)の要領にしたがって取り扱うこと。

A large rectangular box containing 30 horizontal dashed lines, intended for writing or drawing.

平成 2 2 年度

初 任 者 研 修 の 手 引

高等学校・特別支援学校用

平成 2 2 年 3 月 発行
岐阜県教育委員会教育研修課
〒500-8384 岐阜市藪田南5-9-1
TEL 058-271-3326
FAX 058-276-6774